

別紙様式第3号の2

登録申請者、重要な使用人及び貸金業務取扱主任者の氏名等

氏名（カタカナ）		氏名（漢字）		生年月日				性別	種別
姓	名	姓	名	元号	年	月	日		
オオサカ	イチロウ	大阪	一郎	S	00	00	00	M	Y
カシキン	ジロウ	貸金	二郎	S	00	00	00	M	Y
オオ オオ (オオサカ	サブロウ サブロウ サブロウ)	OH 大 (大阪	SABOORO 三郎 三郎)	S	00	00	00	M	Y
サキシマ (ナンコウ	ハナコ ハナコ)	咲洲 (南港	花子 花子)	S	00	00	00	F	Y
ホン	ロクロウ	本	六郎	S	00	00	00	M	S
ウメダ (キタ	ナナコ ナナコ)	梅田 (北	七子 七子)	S	00	00	00	F	S・K
ナンバ	ハチロウ	難波	八郎	S	00	00	00	M	S
オオサカ	カズコ	大坂	一子	S	00	00	00	F	K
テンノウジ	トウコ	天王寺	塔子	H	00	00	00	F	K
ミナミ	サンタ	南	三太	H	00	00	00	M	K
		以下	余白						

(記載上の注意)

- 1 氏を改めた者においては、旧氏及び名を、氏名を記載する欄に括弧書で併せて記載することができる。
- 2 元号については、明治の場合はM、大正の場合はT、昭和の場合はS、平成の場合はH、令和の場合はRと記載すること。
- 3 性別については、男性の場合はM、女性の場合はFと記載すること。
- 4 種別については、役員の場合はY、重要な使用人の場合はS、貸金業務取扱主任者の場合はKと記載すること。兼務している場合は、その双方を記載すること。
- 5 上記様式の記入は、上記様式の事項を記録した電磁的記録の提出をもって代えることができる。この場合においては、次によるものとする。
 - (1) 氏名（カタカナ）は、半角のカタカナで記録し、姓と名の間を半角で1マス空けること。
 - (2) 氏名（漢字）は、全角で記録し、姓と名の間を全角で1マス空けること。なお、常用漢字でない等の理由により、漢字が記録不可能なものである場合には、当該漢字に代えて、平仮名を記録すること。
 - (3) 生年月日のうち年、月及び日については、半角の2桁で記録すること。
 - (4) 氏名（カタカナ）、氏名（漢字）、元号、年、月、日、性別及び種別の間をカンマで区切ること。
 (例) 昭和40年2月1日生まれの貸金太郎氏(男性)が重要な使用人及び貸金業務取扱主任者である場合には、「カシキン 太郎, 貸金 太郎, S, 40, 02, 01, M, SK」と記録する。

(記載方法)

- 1 この書面には、役員（監査役を除く。）、重要な使用人及び貸金業務取扱主任者「全員」について記載する。
- 2 記載する順序
 - ア 個人の場合 ①登録申請者、②重要な使用人、③貸金業務取扱主任者
 - イ 法人の場合 ①役員（監査役を除く。）、②重要な使用人、③貸金業務取扱主任者
- 3 「種別」欄
 - ア 個人の登録申請者については、記号がないため空欄とする。
 - イ 兼務する場合は、記号を両方記載する。
例えば、「重要な使用人」と「貸金業務取扱主任者」とを兼務する場合は、「S・K」と記載する。
- 4 氏を改めた場合は、旧氏及び名を括弧書で併記することができる。
※令和2年12月23日の貸金業法施行規則別紙様式改正による。